令和6度広報・調査等交付金を活用した事業概要の公表について

都道府県名	事業主体	交付金事業の名称	交付金事業の概要	総事業費	交付金充当額	交付金事業の実施場所	備考
北海道	北海道	泊発電所に係る広報・調査等交付金事 業	住民の原子力に対する正しい知識の普及や信頼感及び安心感の醸成のため、正確かつわかりやすい情報提供を継続的に行うことが必要であり、広報誌等の配付による周知や、原子力発電所周辺地域における住民の生活に及ぼす影響等について、調査等を実施します。	34,574,632	24,000,000	北海道一円	
北海道	幌延町	幌延深地層研究センターに係る広報・調査等交付金事業	原子力及び幌延深地層研究センターの研究内容に対する理解促進に係る事業として、 エネルギー関連施設見学会の実施、講習会の実施、広報用パンフレットの配布、情報 収集等を実施します。	13,944,884	12,600,000	幌延町一円	
北海道	泊村	泊発電所に係る広報・調査等交付金事 業	・村職員や消防職員の原子力防災訓練の視察研修を実施し、その結果を住民に地域学習会等で周知致します。 ・全国原子力発電所所在地市町村協議会を通して、全国の原子力発電所立地市町村と連絡調整を図り、原子力発電所周辺地域の住民の生活に及ぼす影響等に関して連絡調整を実施します。	8,147,412	8,082,052	泊村一円	
北海道	共和町	泊発電所に係る広報・調査等交付金事 業	・原子力発電所に係る関連施設についての職員視察、各種原子力研修会等に職員を参加させ、原子力に関する知識を深める。 ・新聞や原子力関係団体である全国原子力発電所所在市町村協議会などから情報を収集する。 ・泊発電所に係る関係機関連絡会、原子力防災会議などにも出席し、関係機関との連絡調整を図る。 ・町広報誌にきょうわ」原子力特集号や原子力防災に関する住民用パンフレットを作成し、町内全戸に配布する。 ・原子力防災計画(135部)を印刷製本し、住民の理解促進に努める。	5,447,206	4,410,000	共和町一円	
北海道	岩内町	泊発電所に係る広報・調査等交付金事業	・地域住民への原子力発電等に関する知識の普及等を図るため、原子力防災計画の改訂や泊発電所環境保全監視協議会への出席など、北海道電力(株) 泊発電所に係る広報・調査等事業を実施します。	5,414,001	4,410,000	岩内町一円	
北海道	神恵内村	泊発電所に係る広報・調査等交付金事 業	・地域住民への原子力発電等に関する知識の普及等を図るため、原子力発電所等の見学会、原子力の正しい知識を理解していただくために村広報誌を活用した広報活動や、泊発電所の安全対策にかかる調査等を実施します。	4,632,382	4,410,000	神恵内村一円	

別紙

I. 事業評価総括表

(単位:円)

番号	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	泊発電所に係る 広報・調査等交付金事業	北海道	34,574,632	24,000,000	
2	幌延深地層研究センターに係る 広報・調査等交付金事業	幌延町	13,944,884	12,600,000	
3	泊発電所に係る 広報・調査等交付金事業	泊村	8,147,412	8,082,052	
4	泊発電所に係る 広報・調査等交付金事業	共和町	5,447,206	4,410,000	
5	泊発電所に係る 広報・調査等交付金事業	岩内町	5,414,001	4,410,000	
6	泊発電所に係る 広報・調査等交付金事業	神惠内村	4,632,382	4,410,000	

別紙 Ⅱ. 事業評価個表

Ⅱ. 争耒評価値衣	<u> </u>			Ro		
番号		, in the second	付金事業の名称			
1	1 泊発電所に係る 広報・調査等交付金事業					
交付金事業者名又	スは間接交付金事業者名	北海道				
交付金事業実施場	易所	北海道一円				
交付金事業の概要	要	住民の原子力に対する正しい知識の普及や信頼感及び安心感の醸 域における住民の生活に及ぼす影響等について、調査等を実施します		コに行うことが必要であり、広報誌等の配付による周知や、原子力発電所周辺地		
			交付金充当額	24,000,000		
総事業費		34,574,632	うち文部科学省分	-		
			うち経済産業省分	24,000,000		
交付金事業の成果	具目標		「行かなければならない状況にあることから、原子力	を契機として、住民の放射線による影響等についての関心は高まっており、原子 や放射線に関する理解を深め、正しい知識の普及を行う事業を継続して実施す 『運転のため、地域の理解を促進していきます。		
交付金事業の成果	具指標	成果目標を達成するためには、正確かつわかりやすい情報提供や普	・及啓発を継続して行う必要があることから、本交付な	金を活用した各種広報誌の関係自治体世帯等への配付率を100%と設定します。		
交付金事業の成果	具及び評価		りました。また、「北海道原子カ防災カレンダー」を作	作成し、岩宇4町村の各戸に配付(配付率100%)することにより、住民の原子力や 成し、UPZ圏内13町村の各戸に配付することにより、住民の原子力や放射線に関		

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
間査事業(委員会・委員等謝金)	=	北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員	90,00
周査事業(委員会・委員等旅費)	-	北海道防災会議原子力防災対策部会専門委員	6,66
周査事業(委員会・会議場借用料)	随意契約(少額)	(株)伊藤組	146,30
周査事業(委員会·手数料、雑費)	随意契約(少額)	(有)札幌速配事務所	50,60
周査事業(委員会·委員等旅費) 周査事業(委員会·会議場借用料)	_	原子力安全有識者会合委員	76,80
周査事業(委員会・会議場借用料)	随意契約(少額)	ニセコビレッジ(株)	549,56
周査事業(委員会·手数料、雑費)	随意契約(少額)	(有)札幌速記事務所	63,25
周査事業(国内調査・旅費)	-	北海道職員	1,500,96
周查事業(情報収集整理·資料購入費) 周查事業(情報収集整理·資料制作費)	随意契約(少額)	遊佐新聞販売(株)等	819,80
周査事業(情報収集整理·資料制作費)	随意契約(少額)	ひまわり印刷(株)等	997,79
周査事業(情報収集整理・負担金)	-	(一社)日本原子力産業協会	230,00
ム報事業(ボスター、チラシ、バンフレット等広報・制作費)	一般競争入札	三浦印刷(株)等	3,130,20
ム報事業(ポスター、チラシ、パンフレット等広報・配布手数料)	随意契約(少額)	日本郵便(株)	8,154,40
広報事業(ボスター、チラシ、バンフレット等広報・雑費)	_	大丸サービス(株) 等	604,33
広報事業(ボスター、チラシ、バンフレット等広報・委託費)	一般競争入札	三浦印刷(株) 等	1,949,88 297,60
ム報事業(インターネット広報・通信費)	<u> </u>	東日本電信電話(株) 等	297,60
広報事業(講師謝金·旅費)		講師	84,23
広報事業(展示事業・展示用機器更新・補修費)	随意契約(少額)	勝戸電気(株)	4,362,44
な報事業(展示事業・会場運営費)	一般競争入札	(株)東洋実業 等	11,139,48
里格調整事業(旅費)	-	北海道職員	320,18
	Ξ†		34,574,63

別紙 Ⅱ. 事業評価個表		R6
番号	交付金事業の名称	
2	幌延深地層研究センターに係る広報・調査等交付金事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	幌延町	
交付金事業実施場所	幌延町一円	
交付金事業の概要	原子力及び幌延深地層研究センターの研究内容に対する理解促進に係る事業を実施します。 具体的には、エネルギー関連施設見学会の実施、講習会の実施、広報用パンフレットの配付、情報収集等です。	
	<u> </u>	12,600,00
総事業費	13,944,884 うち文部科学省分	
	うち経済産業省分	12,600,00
交付金事業の成果目標	最新かつ正確な事業内容に関する情報収集による知識の蓄積・普及を促進し、関係機関との的確な連携構築により、地域住	民の安全の確保や不安・疑念の解消を図ることを目的として事業を実施します。
交付金事業の成果指標	成果目標の達成のため、本交付金を活用した事業により、エネルギー関連施設見学会の町民参加50名、講習会の地域住民なお、エネルギー関連施設見学会においては、見学者の施設理解度を60%と設定します。	参加50名、広報用パンフレット配付部数300部により、知識の普及を図ります。
交付金事業の成果及び評価	事業実施により最新でより正確な事業内容に関する知識や情報を得られ、また、幌延深地層研究計画や原子力発電に関する 幌延深地層研究計画や原子力発電に関する知識の普及を図ることができました。 ・エネルギー関連施設見全を2回、計27名の町民参加で実施し、知識の普及に努めました。見学者アンケート及びレポートに。 ・講習会(工作実験教室)を7回、延べ58名の地域住民が参加し、知識の普及を図ることができました。 ・広報用パンフレット300部を配付し、知識の普及を図ることができました。 来年度以降についても、継続して事業を実施していきます。	

交付金事業の契約の概要

契約の目的	契約の方法等	契約の相手方	契約金額
国内調査(旅費) 切修(旅費) 情報収集整理 情報収集整理	_	- 模型町職員 - 模型町職員、議員	1,341,920
研修(旅費)	-	幌延町職員、議員	1,055,350
情報収集整理	随意契約(特命)	宗谷新聞社 等 幌延町会計年度任用職員	345,10
情報収集整理(給料、手当、共済費)		<u>幌延町会計年度任用職員</u>	4,862,42
情報収集整理 新聞、雑誌等広報	随意契約(少額) 超意契約(特命) 超意契約(少額) 超意契約(少額) 超意契約(少額) 超意契約(特命) 指名數學人札 指名數學人札	ダーシェニカ	19,96
新聞、雑誌等広報 <u></u>	随意契約(特命)	(株)須田製販等	1,473,14
ポスター、チラシ、パンフレット等広報	随意契約(少額)	ダーシェニカ 等	201,74
利的、特別では、第一次のでは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	随意契約(少額)	ダーシェニカ	124,25
<u>請漢芸、講賞芸、懇談芸</u>		(有) 教威特関販売所 等	13,76
見子芸 	<u> </u>		3,053,91
見子芸 自然会	指名競爭人和 跨差初後/妹子〉	(有)製庫新園販売所等 ㈱日本旅行北海道旭川支店 機屋協製北海道支店 もんでん新聞販売所等	1,215,32
兄子云 百坐ム	随意契約(特明)	サージェニカ マージェニカ サード サード サード サージェニカ サージュー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェー・フェ	3,10 19,83
元ナ太 演数種数/世界	[[[] [] [] [] [] [] [] [] []	ブーンエール 横花町贈品	143,10
運動器(派員/	<u>-</u>		5,72
的点式、計画式、家政式 見字会 見字会 見字会 見字会 見字会 選絡調整 選絡調整	随意契約(少額)	ダーシェニカ	66,23
			·
1	計		13,944,88

		価値	

番号		វ	付金事業の名称	
3		泊発電所に	系る広報・調査等交付金事業	
マイス	i	泊村		
交付金事業実施場所	泊村一円	•		
交付金事業の概要	も、安全性だけではなく 適に暮らしていけるよう	、危険と隣合わせであるということを改めて認識しつ。 に村職員や消防職員の原子力防災訓練の視察研修 を図り、原子力発電所周辺地域の住民の生活に及ぼ	も、原子力の必要性や重要性についても村民に広く理解 を実施し、その結果を住民に地域学習会等で周知致します す影響等に関して連絡調整を実施していきます。	精う一大エネルギー拠点となりました。福島原子力発電所事故以降、村民において にて頂けるよう、原子力の日普及用封筒による広報の実施及び村民が安心して快 け。また、全国原子力発電所所在地市町村協議会を通して、全国の原子力発電所
			金充当額	8,082,052
総事業費		8,147,412 うちょ		
		うち糸	E済産業省分	8,082,052
交付金事業の成果目標	となっており、職員が他		する研修を実施し、その結果を地域学習会等で住民に広	原子力発電に対する理解の促進や正しい知識の普及を図っていくことが大変重要 〈周知を図ります。また、原子力防災情報収集並びに全国原子力発電所所在地市
交付金事業の成果指標	成し、日々の業務のほか 画の修正を行い全職員	、住民への各種資料配付などで使用し、原子力に対	する知識の普及啓発を行います。原子力防災についてに ついては、その結果を地域学習会で住民に周知します。	ことを目的に「原子力の日」広報記事を印刷した原子力普及用封筒を計19,000部作 に泊村の職員に原子力防災の知識の向上が必要不可欠であるため、原子力防災計 也市町村との連絡調整会議においては、泊村の議会議員を含め村職員においても
交付金事業の成果及び評価	配付しています。 また、連絡調整会議で は、電気新聞を始めとし	は本村職員及び議員が出席し、議長においても、東 た全国紙5社を購読し、これらの成果を踏まえ、来年	京都で毎年開催される「全原協総会」に欠かさず出席し、「	においては、職員の原子力防災に係る知識の習得及び向上を図るため、全職員に 也市町村との連絡調整会議としては11回の出席をしております。情報収集について 封筒や新聞購読、原子力防災計画の修正及び職員配付を継続し、連絡調整会議 ていきます。
交付金事業の契約の概要	1			
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
調査事業(旅費) 情報収集整理(負担金)			泊村職員旅費 日本原子力産業協会 等	1,756,000 525,000
] 被以果金理(貝担金)			ロ平原丁ル庄未協会 寺	525,000

の失利の似安			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
調査事業(旅費)	_	泊村職員旅費	1,756,000
情報収集整理(負担金)	_	日本原子力産業協会 等	525,000
情報収集整理(資料購入費)	-	(一社)日本電気協会新聞部 等	304,520
ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費)	随意契約(少額)	(株)福島印刷 等	1,333,530
ポスター、チラシ、パンフレット等広報(補助金)	_	地域会連合会 等	1,155,060
関査事業(旅費) 情報収集整理(負担金) 情報収集整理(資料購入費) ポスター、デラシ、パンフレット等広報(制作費) ポスター、デラシ、パンフレット等広報(補助金) 連絡開整事業(旅費)	-	泊村職員旅費 日本原子力産業協会 等 (一社)日本電気協会新聞部 等 (株)福島印刷 等 地域会通合会 等 泊村職員旅費	1,756,000 525,000 304,520 1,333,530 1,155,060 3,073,302
	計	•	8,147,412

R6

事業証価個 第	

业 . 于木叶画图:	23			100		
番号	交付金事業の名称					
4		泊発電	所に係る広報・調査等交付金事業			
交付金事業者名	又は間接交付金事業者名	共和町				
交付金事業実施	場所	共和町一円				
交付金事業の概	要	民へ伝えます。		・戸配付をしている原子力特集号などの広報誌を用いて、分かりやすく正しい情報を住 時における行動の円滑化を図る。また、職員を各会議に参加させることで関係機関との		
			交付金充当額	4,410,000		
総事業費		5,447,206	うち文部科学省分	-		
			うち経済産業省分	4,410,000		
交付金事業の成	果目標	本交付金事業により、原子力に関する情報収集や各種会議へ出席し することで、住民への正しい知識の普及と原子力に対する理解促進を		及を図ります。併せて、原子力防災に関する住民用パンフレットを作成し、各戸に配付		
交付金事業の成	果指標	・原子力発電所に係る関連施設についての視察や、各種原子力研修・新聞や原子力関係団体である「全国原子力発電所所在市町村協議・町広報誌「きょうわ」原子力特集号の作成(2,600部)や原子力防災に・原子力防災計画(135部)を印刷製本し、住民の理解促進に努めます・本事業に係る関係資料及び情報の収集・整理のため、会計年度任	会」などから情報収集を行うとともに、泊発電所に係る関関する住民用パンフレットを作成(2,600部)し、町内各戸「。	目係機関連絡会、原子力防災会議等に出席し、関係機関との連絡調整を図ります。		
交付金事業の成	果及び評価	・新聞等から情報収集を行ったほか、原子力防災に係る関係機関連・町広報誌「きょうわ」や「原子力防災のしおり」を2,600部作成し、町内を135部印刷製本し、住民の理解促進に努めました。 ・会計年度任用職員を雇用することにより、原子力に関する情報収集	各戸に配付し、国・道・町が実施している原子力関連施	を視協議会など各種会議に出席しました。 策や泊発電所の安全対策等について住民に周知するほか、策定した原子力防災計画		
六八人主業の切	40の無面					

交付金事業の契約の概要

(4) (4) (4) (4)			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
情報収集整理(共済費) 情報収集整理(報酬、手当) 運絡調整(除費)等 情報収集整理(資料購入費)等 情報収集整理(資料購入費)等 情報収集整理(負担金) 一般事務費(広報事業)	-	厚生労働省年金局・北海道市町村職員共済組合会計年度任用職員 北海道原子力防災訓練担当者会議 (株)五百歳サービス・(株)川端文化堂等 全国原子力発電所所在市町村協議会等 (株)茶良印刷	482,650
情報収集整理(報酬、手当)	_	会計年度任用職員	3,079,261
連絡調整(旅費)等		北海道原子力防災訓練担当者会議	228,800
情報収集整理(資料購入費)等	随意契約(少額)	(株)五百蔵サービス・(株)川端文化堂 等	731,960 180,000
情報収集整理(負担金)		全国原子力発電所所在市町村協議会 等	180,000
一般事務費(広報事業)	随意契約(少額)	(株)奈良印刷	744,535
	計	1	5,447,206

Ⅱ. 事業評価個	表					R6
番号				交付金事	業の名称	
5		泊発電所に係る広報・調査等交付金事業				
交付金事業者名	名又は間接交付金事業者名		岩内町			
交付金事業実施	布場所	岩内町一円				
交付金事業の概	既要	地域住民への原子力	に関する知識の普及等を図るため、原子力防災	役計画の改訂や 治	発電所環境保全監視協議会への出席等、北海道電力(株)泊発電所に係る	広報・調査等事業を実施します。
				交付金充当額		4,410,000
総事業費		5,414,001	うち文部科学省	分	_	
				うち経済産業省	個査等文付金事業 発電所環境保全監視協議会への出席等、北海道電力(株)泊発電所に係る広 発電所環境保全監視協議会への出席等、北海道電力(株)泊発電所に係る広 影響に関する関心が高まっていることから、本交付金事業により、原子力には住民への正しい知識の普及と原子力に対する理解促進を図ります。 (正遂行します。 に遂行します。 活動を実施します。 議会など各種会議へ参加し、関係機関や関係市町村との連絡調整・情報交換 所在市町村協議会等に加入し、協議会主催の会議等に参加することで構成時 防災訓練を円滑に進行することができました。 の整備を図りました。 たたいました。	4,410,000
交付金事業の原		をすることで町職員の気	1歳の普及を図ります。		の影響に関する関心が高まっていることから、本交付金事業により、原子力に 住民への正しい知識の普及と原子力に対する理解促進を図ります。	関する情報収集や各種会議へ出席し他町村と情報交換
交付金事業の原	 成果指標	・原子力防災計画改訂 ・原子力防災訓練につい ・町内全戸配備している ・各種封筒へ「原子力の	Rを購読し、原子力に関する最新情報を収集しま 版等を作成し、関係機関に配付することで、原子 いて住民周知を図るためのチラシを全戸配付し が近行政無線の保守点検を行うことで、地域 日」を印刷し、原子力に関する知識普及を行い	・力に関する知識 、防災訓練を円滑 E民へ確実な広報 ます。	に遂行します。 活動を実施します。	を行います。
交付金事業の原	成果及び評価	- 原子力防災計画改訂 - 原子力防災訓練の住 - 町内に全戸配備してい - 各種封筒に「原子力の	院したことで、正確な情報収集を行ったほか、全 版を関係機関に配付したことにより、非常時の 民周知を図るためのチラシ6、750部を全戸配付 いる防災行政無線の保守点検を行い、確実な広 日」を印刷し使用することで、原子力に関する失 現協議会等の会議へ出席し、北海道及び関係呼	対応などについて。 たことで、原子力 報活動を行うため D識普及を図りま	の知識者及を図りました。 防災訓練を円滑に遂行することができました。 のの機構を図りました。 した。	町村との情報交換を行いました。
交付金事業の勢	契約の概要	1				
	契約の目的		契約の方法		契約の相手方	契約金額

の大小の似女			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
情報収集整理(資料購入費) 情報収集整理(資料作成費)	随意契約(少額)	(株)道新藤田販売所 等	310,757
情報収集整理(資料作成費)	随意契約(少額)	(有)シオヤマ 等	132,330
情報収集整理(整備費)	指名競争入札	(有)シオヤマ 等	22,453 63,000
情報収集整理(負担金) ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費)		全国原子力発電所所在市町村協議会 等	63,000
ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費)	随意契約(特命)	(株)奈良印刷	1,407,598
ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費)	随意契約(少額)	(株)奈良印刷	252,100 263,538
ボスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費)	随意契約(少額)	(株)福島印刷	263,538
ボスター、ナフン、ハンノレット寺仏教(配行手数料)	随意契約(少額) 随意契約(少額) 随意契約(特命) 随意契約(特命)	(株)福島印刷	143,625
ホスター、ナフン、ハンノレット寺仏報(安託賞) 「安保報を言葉/青本)	随息关約(特耶)	日本電気(株) 北海道支社	561,837
パスター、ナラシ、パンフレット等広報(制作費) ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費) ポスター、チラシ、パンフレット等広報(配付手数料) ポスター、チラシ、パンフレット等広報(委託費) 運新調登事業(資金) 連絡調整事業(旅費)	<u>_</u>	会計年度任用職員等 岩内町職員	1,996,720 260,043
是相關至于未(派員/	-	- 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一 - 一	200,043
	計		5,414,001

Ⅱ. 事業評価個	固表	R6

番号	交付金事業の名称				
6	泊発電所に係る広報・調査等交付金事業				
交付金事業者名又は間接交付金	事業者名 神 恵内村				
交付金事業実施場所	神恵内村一円				
交付金事業の概要	地域住民への原子力発電等に関する正しい知識の普及等を図る	ため、原子力発電所等の見学会や村広報誌を活用した	た広報活動、泊発電所の安全対策にかかる調査等を実施します。		
		交付金充当額	4,410,000		
総事業費	4,632,3	382 うち文部科学省分			
		うち経済産業省分	4,410,000		
交付金事業の成果目標			しい知識の普及・啓発を目的に「原子カエネルギー見学会」の実施や村内各戸へ原子力防災 こしい情報を提供し、地域住民への原子力発電等に関する知識の普及を図ります。		
交付金事業の成果指標	成果目標を達成するためには、正確かつ分かりやすい情報提供を 見学会」においては、参加者の原子力発電に対する理解度を80%		、毎月原子カエネルギー広報カレンダーを村内全戸に配付します。また、「原子カ・エネルギー		
交付金事業の成果及び評価	原子力防災のしおりの配付や、毎月原子カエネルギー広報カレンまた、「原子カ・エネルギー見学会」を実施し、終了後のアンケートてくれたと思う」との回答が100%でした。子ども達を含め、参加者の「	、では、「見学会全般を通して、お子様の様子を見て、ど	のように感じていますか?」の問いに対し「だいたいは理解してくれたと思う」「少しだけ理解し		

契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費) ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費) ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費)	随意契約(少額)	(株)奈良印刷	620,400
ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費)	随意契約(特命) 随意契約(特命)	(株)奈良印刷	129,360 70,400
ポスター、チラシ、パンフレット等広報(制作費)	随意契約(特命)	(株)奈良印刷	70,400
	指名競争入札 指名競争入札	(株)ブルーツーリズム北海道	2,111,524 897,852
国内關查(旅費) 情報収集(資料購入費等) 国内調查(旅費)	指名競争入札	(有)ライフマート	897,852
情報収集(資料購入費等)	-	相葉新聞店 等 神恵内職員	215,918
国内調査(旅費)	-	神思内職員	462,920 50,000
調節制礼 実験資材 事務用品	-	エネルギー広報企画舎 エネルギー広報企画舎	50,000
実験質材	-	エネルギー広報企画書	52,800
學務用品	-	(株)シナダ	21,208
	計		4,632,382